

令和7年度鳥取市職員採用試験説明会 参加者からの事前質問及び回答

1. 採用に関して

(1) 求める人材に関すること	
① 求める人材・人物像	鳥取市が求める人物像は先に説明したとおりですが、一言で表すとするとポジティブでコミュニケーション能力の高い人が活躍している印象です。
② 市職員に必要な知識、スキル	専門職であれば、それぞれの専門分野の知識は業務上も必要になってきますが、入庁後の実務の中で身に付く部分が多いです。一般事務については、必ず必要となる知識というものはないですが、専門職・事務職ともに少なくとも一般常識や時事についての知識は持ってほしいと思います。どのような仕事をする上でも、対市民の方とのやり取りや、組織内で協力して仕事を進めていく必要がありますので、コミュニケーション能力は必要なスキルだと考えています。
③ 学生時代（試験前・採用前）に身につけておいた方がよいスキル、やっておいた方がよいこと	鳥取市役所の業務は幅広いため、身につけておいた方がよいというスキルは一概に言えませんが、少なくとも学生であれば専攻している分野をしっかり勉強してほしいと思います。また、社会人になる上での最低限の習慣として常に時事情報などを仕入れる習慣は持っておくとよいです。
(2) 採用試験に関すること	
① 採用試験の内容等	具体的な試験分野については現在募集中の受験案内に記載のとおりであり、現在募集している職種以外については、各募集期間開始日に受験案内を配付するため、そちらでご確認をお願いします。受験案内に記載してある内容を超える部分についてはお答えできません。人物試験には、自己アピールの時間が3分間あり、そこで何を話されるかをじっくり考えて臨んでほしいと思います。定型的な内容を羅列するようには述べるのではなく、自分らしさを全面的にアピールしてください。
② 地元大学卒の採用率と県外大学卒Uターンの採用率の違い、県外出身者でも鳥取市職員として働けるか	年によって違うので一概には言えませんが、地元大学出身の受験者が比較的多いため、地元が多い傾向にはあると思います。ただ、採用にあたっては、出身大学によらず優秀な人材を採用することを基本としています。もちろん県外出身の職員も多くいます。
③ 筆記試験対策のおすすめ勉強法、いつから勉強を始めたか	一概には言えませんが、独学でするのであれば市販のテキストを繰り返し解き問題の傾向を把握することが大切だと思います。勉強を始める時期も人それぞれだと思いますが、大学の公務員講座等も利用し計画的な勉強をすることをおすすめします。
④ 採用予定人数以上に合格になることはあるか	採用予定者数は現時点での予定ですので、今後の職員の欠員によっては、予定より多くの採用数を出す場合があります。令和6年度は、一般事務Aの採用予定者は17名程度として募集していましたが、37名が最終合格者となっています。専門職についても、保健師の採用予定者は1名で募集しましたが、5名の最終合格者となっています。このように、欠員の状況や、試験の結果、優秀な方が多ければ、予定人数より多い合格者数となることもあります。採用予定数が少ないからと尻込みせず、ぜひ受験いただければと思います。鳥取市の過去の採用試験の実施状況についてもHPに掲載していますので、参考にしてください。 https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1190791179113/index.html

2. 在職職員に聞きたいこと

(1) 在職職員に聞きたいこと	
① 鳥取市役所を目指した動機	職員により動機は様々ですが、住み慣れた又は愛着のある鳥取市に貢献したいという思いを持って鳥取市役所を目指した部分が全職員に共通していることだと思います。
② 市役所と県庁との違い、鳥取市ならではの業務、鳥取市の魅力	権限の違いが一番大きいですが（広域的に行うことが望ましい業務は県、市区町村単位で行うことが望ましい業務は市区町村など（パスポートと住民票、警察と消防の違いなど））。また、県は、国と市町村のパイプ役の業務を担う一方で、市は基礎的自治体として住民サービス業務が大部分を占めるため、住民の方とのかかわりは多いと考えます。直接住民の生活に直結しているという実感を持ちながら仕事ができるのがやりがいにつながると感じます。鳥取市ならではの取り組みとして、市役所特命係という全庁から若手職員を募り、部署の垣根を超えて鳥取市のPR活動をしているチームがあり、自由な発想で業務を行いやすい風土があると感じています。自分の意見や企画提案なども行いやすく、業務のモチベーションの観点では魅力的な組織だと思います。
③ やりがい、魅力、困難さ、よかったこと、成長を感じる場面、印象に残る業務等	鳥取市公式YouTubeチャンネルや鳥取市役所特命係YouTubeチャンネルに動画がアップされていますので、ご覧ください。 【鳥取市公式】 https://www.youtube.com/channel/UC1Izmp7cck65cttc6hs8Mww 【鳥取市役所特命係】 https://www.youtube.com/channel/UCnncuTyqPX6-bM-Inqm5pOw
④ 市民や企業など、多様な方と関わる中で特に気をつけていることや大切にしていること	公務員であるという自覚をもって、誠実・公平に接し、法令等に基づきわかりやすく説明すること。

⑤	入庁前と現在とのギャップ、考え方の変化	<p>入庁前は堅苦しいイメージでも、入ってみると気さくな職員が多くいると感じます。公務員も民間企業も同じだと思いますが、社会人になった以上は、倫理意識と責任感を持つことが必要です。学生と社会人の大きな違いは、顧客や住民など利害関係者がいることです。自分が業務を行うことが市民や企業など相手方の利害に関わるため、業務には大きな責任を伴う一方、やりがいや達成感があると思います。</p> <p>【特に保健師として感じたギャップについて】 専門業務としてのギャップはあまりない一方、行政職一般の対応が必要（事務文書作成や契約事務等、一定のスキルが必要）な点について、初めは驚きました。しかし、行政で働く保健師としての自治体でも求められることであると思いますので、専門業務とともに前向きに取り組んでいます。</p>
⑥	民間企業との違い	<p>一番の違いは、民間は自社の利益を追求するのに対し、公務員は全体の奉仕者として公共の利益を追求することだと思います。公務員として鳥取市全体の発展に向け、また鳥取市に住む人たちが安全安心に暮らせるよう職務に専念する義務があります。また民間企業ではよく聞かれる業績ノルマ等がないことも違いです。</p>

3. 人材育成・福利厚生・人事異動に関して

(1) 職員の人材育成に関すること		
①	新規採用職員の仕事の覚え方	<p>採用日から各職場で通常勤務となりますが、前任者からの事務引継を受けた後、周りの職員のサポートを受けながら業務を習得していただきます。また、新規採用職員研修を受講いただき、市役所の実務や守るべき規律など、必要な知識をしっかりと習得していただく機会を設けています。</p>
②	採用職員の教育体制	<p>新規採用職員研修のほか、採用後6か月経過後にフォローアップ研修を実施します。所属長を「育成責任者」、係長等直接指導育成に当たる直属の上司を「OJT担当者」として、新採用職員の育成・指導を行うほか、部署内の先輩職員が新規採用職員と定期的・継続的に交流し、対話や助言を通して、市役所の基本的ルールや仕事の取組み方等、職務遂行能力を早期に身に付けられるように育成支援する「メンター制度」を設けています。</p> <p>【特に保健師の教育体制について】 行政職と専門職としての両面の育成体制となっており、それぞれのガイドラインに沿って実施しています。 専門職分野においては、『鳥取県と市町村保健師の現任教育ガイドライン』に沿った育成体制となっています。OJTとしては、入職から3年間、同じ系の保健師プリセプターや教育担当者が側に居て一緒に事業実施をしたり相談を受けたり等の支援を行います。また、家庭訪問などに同行して助言してもらう保健師トレーナー（市OB保健師）制度もあります。 保健所内には現任教育担当部署もあり、ステップアップにつながる事例検討や研修等を企画したり、情報交換会等を行ったりして、個別に応じた伴走がされます。</p>
③	職員のスキルアップに対する支援	<p>自治体大学校、市町村アカデミー等の機関への派遣研修を実施しています。 階層別研修では、それぞれ一例だが、採用1～3年目で行政法等法律に係る知識の習得、中堅職員は政策形成やコミュニケーション、管理職ではリスクマネジメントや業務改善といった内容の研修を実施しています。また、能力開発・向上のための研修も選択して受けられるよう斡旋を行っています。 職員の人材育成の一環として、通信教育や放送大学の講座を受講する場合の費用を助成するなど職員の自己啓発への支援を積極的に行っています。</p>
(2) 職員の福利厚生に関すること		
①	福利厚生について	<p>職員には年次有給休暇や各種特別休暇（夏季休暇、産前休暇等育児支援に関するもの、結婚休暇等）が付与されます。年次有給休暇は年20日（新規採用職員は15日）付与されますが、令和6年の平均取得日数は13.5日と比較的取得しやすい状況にあると思います。 手当についても、通勤手当や住居手当、扶養親族がいる場合は扶養手当など、条件に応じて支給されます。もちろん時間外勤務手当もあります。 職員が加入する市町村共済組合では、貯蓄や貸付事業、宿泊保養施設への利用費助成、シーカヤックやシャワークライミング等の健康イベントの開催等を行っています。また、鳥取市の厚生事業として、地元の鳥取じゃんしゃん祭や共済スポーツ大会等へ参加しています。鳥取市には野球、サッカー、バレーボール等全部で18のサークルがあり、それぞれ活動しています。</p>
②	子育て中の職員が保育園の呼び出しなどで急を要する場合、対応できるのか	<p>子育て支援のための各種休暇制度が整備されていますので、それらを使いながら対応していただくと考えています。例えば子の看護等休暇はお尋ねのような急遽子どもの看病が必要となるときのほか、入学式や入園式のためにも使っていただけ、今年度も既に多数の職員が利用しています（R7.4の申請件数218件）。もちろん業務調整は必要になりますが、お互いにフォローしながらかやっつけていける体制であると考えています。</p>
③	育児部分休業と育児短時間勤務の違い	<p>育児部分休業・育児短時間勤務ともに、小学校就学前の子を養育する職員が対象となる制度です。違いとしては、部分休業は1日の初めまたは終わりにおいて2時間を超えない範囲内で取得できる制度であるのに対し、育児短時間勤務は部分休業より勤務しない時間が長く、一週間の勤務時間及び勤務形態が明確に決められています（月～金で1日3時間55分ずつ勤務 など）。</p>

(3) 人事異動に関すること	
① 異動、新規採用職員の配属先の決定方法	本人の自己申告をはじめ、職務経歴や人事評価、各部署からの配置要求等を総合的に勘案して配属先を決定します。一般的には3～5年のサイクルで異動となる場合が多いです。新規採用職員については、自己申告書の代わりに、従事されたい業務内容やお持ちの資格等について伺う採用希望調査を行い、配属先の参考としています。
② 異動の苦勞、乗り越え方、異動時の心構え	業務内容や扱う法令等が変わるため、苦勞や向き不向きを感じることもありますが、前任者や周囲の職員との連絡相談を密にしながら、業務内容を習得していきます。その中で改善点を考慮したり創意工夫をしたりしながら行政職員としての能力を高めていくことになります。気さくな職員が多く、上司や先輩にも相談しやすい雰囲気があるため、大変な業務であっても組織として仕事を進め解決していくことができる環境があると考えています。
③ 評価の方法	職務遂行の中で発揮した能力の程度を評価する能力評価と、与えられた業務の業績の達成度を評価する業績評価の2種類によって、人材育成の観点から評価を行っています。

4. 組織・施策・業務に関して

(1) 市の組織及び業務内容に関すること	
① 部署ごとの仕事内容	鳥取市公式ウェブサイトの各課のページをご確認ください。
② 職場の雰囲気	鳥取市公式YouTubeチャンネルや鳥取市役所特命係YouTubeチャンネルに動画がアップされていますので、ご覧ください。 【鳥取市公式】 https://www.youtube.com/channel/UC1lzm7cck5cttc6hs8Mww 【鳥取市役所特命係】 https://www.youtube.com/channel/UCnncuTyqPX6-bM-Inqm5pOw
③ 一日のスケジュール	部署や担当業務によって様々ですので一概にお答えすることが難しいですが、一般事務職員の基本の勤務は8：30～17：15（休憩12：00～13：00）となっています。
④ 仕事上の心がけ、気を付けていること	鳥取市公式YouTubeチャンネルや鳥取市役所特命係YouTubeチャンネルに動画がアップされていますので、ご覧ください。 【鳥取市公式】 https://www.youtube.com/channel/UC1lzm7cck5cttc6hs8Mww 【鳥取市役所特命係】 https://www.youtube.com/channel/UCnncuTyqPX6-bM-Inqm5pOw
⑤ 保健師の主な勤務地、業務内容	主には鳥取市保健所（保健医療課、健康づくり推進課 等）での勤務となりますが、そのほかにも福祉部（中央包括支援センター）やこども家庭局（こども家庭センター、こども発達支援センター）、また各総合支所に配属されることもあります。 基礎自治体の保健師なので、住民と接する業務が主体です。勤務時間の半分以上は住民と直接関わります。市町村業務（母子保健、成人保健、精神保健、高齢者保健の各事業）に加え、保健所業務（感染症対策、難病支援、心の健康支援等）に主に従事します。保健師の個別対応だけでは支援できない事も多いため、支援者のネットワークを作るなどコーディネート的な業務も行います。住民の声を直接聞く機会が多いので、その声を政策に活かせるよう声を届ける役割もあります。災害発生時には、災害時保健活動も行います。 健康づくり推進に関する事業概要等については、ホームページに『けんこう鳥取』が掲載してありますのでご参照ください。
⑥ 社会福祉士の主な勤務地、業務内容	主には福祉部（生活福祉課、長寿社会課、中央包括支援センター、障がい福祉課 等）への配属となります。業務内容としては成年後見や虐待対応などの権利擁護関係が主です。そのほか一般市民さんの相談業務やそれに関り色々な機関につなげることが多いです。多職種連携をしていくので色々な方と繋がること、社会福祉士はまだ人数も少なく、若手職員も多いのでみんなで相談・協力しながら業務にあたることにやりがいを感じます。
⑦ 鳥取市の福祉の課題と可能性	生活困窮の人や身寄りがない人の課題が増えてきており、複合的な課題をもつ世帯も増えてきていることが課題。 庁内・庁外問わず色々な機関との関わりや連携をして課題解決に向けて動いている。その中で多分野でつながりをつくっていきけることは社会福祉士ならではの強みです。
⑧ 市の保育士として大切なこと	子どもたちの安全と健康を守り心身ともに成長を促すこと、保護者との良好な信頼関係を築き、地域社会と連携を深めることだと考えています。一期一会を大切にしていきたいと思っています。 また、保育のこのことのみにならないよう鳥取市の情報も知っておくことも大切ですし、コミュニケーション能力や柔軟な対応力も必要です。

⑨	若手職員のうちから自分の意見や新たな提案を発信できる機会の有無、提案の行き届きやすさ	部署によっては企画提案が必要などもありますし、通常業務においても業務効率化に向けた提案など、上司への提案は積極的に行っていただけるものと考えています。もちろん提案が採用されることもあります。 また、全庁的な若手職員によるプロジェクトチームが発足することもあるため、そういった場に参加することでも自分の意見を発信することができます。
⑩	採用区分(大卒程度、高校卒業程度、社会人対象等)による仕事内容の差異	採用区分による仕事内容の差異はありません。鳥取市の正職員として、同様の業務内容に従事していただきます。
⑪	職員が活躍している分野の中で市民からは想像しづらいものがあるか	市役所業務としてよく想像されるものとしては戸籍や税、福祉などの窓口業務が多いと思いますが、市役所の仕事は多岐にわたるため、市民の方から想像しづらい分野も存在します。例えば「都市計画」や「企業誘致」など、市民の日常生活には直接見えづらいかもしれませんが、街の住みやすさや魅力を大きく左右する重要な役割を担っています。
⑫	個別の施策に関して ・子育て支援に関して、鳥取市役所が特に力を入れて取り組んでいる施策や支援制度 ・移住・定住促進に向けて、どのような取り組みや支援策を行っているのか ・「子育て世代が住みたい田舎」部門で全国第1位を受賞した理由について、特に評価された取り組みや背景	(子育て支援) 妊娠から子育てまでワンストップで切れ目なく支援を行うための体制を整備し、子育て支援に取り組んでいます。産後の育児不安解消に向けた助産師によるサポート事業のほか、妊婦応援給付金や不妊治療助成など各種助成も行っていきます。また就労要件を問わず保育園等の利用を可能とすることも誰でも通園制度の導入や、幼児教育・保育料の無償化を行うなど、子育てしながら働きやすい制度の確立にも努めているところです。 (移住定住) 専任の相談員を設置し、電話・メール・オンライン等により、移住に関する様々な相談対応を行っています。いずれUターンを検討しているという方には、希望される情報を随時メールや郵送などでお送りしていますし、移住定住専用ポータルサイトでの情報発信も行っています。その他、移住された方への奨励金や移住のために来県される方への交通費助成などの支援も行っています。 また、新しい取組としては、体験ツアーを実施し農業体験や先輩移住者との交流を行ったり、インフルエンサーグランプリを開催し、高校生目線で地域の魅力を発信してもらうような取り組みを行っています。 (全国1位の受賞で評価された取組) 豊かな自然を活かした保育施設や子供向けのスポットが充実しており、子どもの自主性を伸ばす保育環境等が整っていること、また地域に根差した小児病院が多数あるなど医療面での安心感があること、地域が協力した子育て支援に力を入れており、子育てのネットワークや地域単位での支援が充実していることなどが評価されたものと考えています。
(2) 市の施策に関すること		
	最重要施策	鳥取市公式ウェブサイトにも掲載している第11次鳥取市総合計画、第2期鳥取市創生総合戦略をご参照ください。端的に言えば「ひとづくり、仕事づくり、まちづくり」を根幹に、各種施策を展開しています。

5. その他(当日質問でいただいたこと等)

(1) その他		
①	第2部の見学や意見交換会で詳しく業務内容の話が聞けるのはどの部署か	現時点の予定としては、地域振興課、観光・ジオパーク推進課、まちなか未来創造課、危機管理課の見学を予定しています。意見交換では特定の業務内容というよりも、座談会形式で幅広く話をさせていただくような場を想定しています。
②	鳥取市にあった方がよいと考える施設やお店	一概には言えませんが、例えば駅周辺に関して言えば、現在鳥取市では鳥取駅周辺の再整備を進めているところであり、市民ワークショップや意見交換等を開催し、再整備に関するご意見やアイデアの把握に努めながら検討を進めています。 令和6年6月に策定した「鳥取駅周辺再生基本計画」において「次の50年へ。未来創造ステーションワークワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ」を目指す将来像とし、多様な交通モードをシームレスに乗り換えることができ、高質化した待合空間をもつ集約型交通ターミナルや、市民が集いたくなるような機能を持つ複合施設や賑わい広場の整備を検討しています。
③	採用試験の申込の仕方について、「学歴」のうち「学年」を書くところは、自分の今の学年を書けばよいのか、それとも在籍している学校の最終学年を書けばよいのか	ご自分の今の学年を記載してください。